ショパン国際ピアノ・コンクール100周年記念

第19回

ショパン国際ピアノコンクール入賞者(2025) ズートン・ワン&ピョートル・アレクセーヴィチによるコンチェルト



ズートン・ワン
（第3位／最優秀ソナタ賞＝クリスチャン・ツィメルマン賞）

ピョートル・アレクセーヴィチ
（第5位／聴衆賞第1位）

オーケストラ：ポーランド国立放送 アマデウス室内オーケストラ



指揮：アンナ・ドゥチマル＝ムルス

モーツァルト：ディヴェルティメント ニ長調 K.136
W.A. Mozart: Divertimento in D Major, K. 136

ショパン：ピアノ協奏曲第2番 ヘ短調 Op.21
（弦楽オーケストラ版／ピョートル・アレクセーヴィチ）
F. Chopin: Piano Concerto No. 2 in F minor, Op. 21(String Orchestra Version／Piotr Alexewicz)

ショパン：ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 Op.11
（弦楽オーケストラ版／ズートン・ワン）
F. Chopin: Piano Concerto No. 1 in E minor, Op. 11(String Orchestra Version／Zitong Wang)

2027 **6.1** 火 19:00開演(18:30開場) **東京オペラシティ コンサートホール**

全席指定(税込) SS 15,000円 S 12,000円 A 10,000円 B 8,000円 U25 5,000円

*2027/4/15(木)11:00よりアスペンでのみ取扱い。
公演当日、年齢確認の可能なものをご持参ください。
当日座席指定(選択不可)。

*都合により、内容が変更となる場合がございます。演奏会中止の場合を除き、払い戻しはいたしません。
*未就学児のご入場はご遠慮ください。

プレイガイド
東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999(10:00～18:00 火～日)／店頭：(11:00～19:00 火～日)
アスペン 03-5467-0081(10:00～18:00 月～金) *車いす席ご希望の方は、アスペンにてご予約ください。
イープラス https://eplus.jp/　　teket https://teket.jp/

一般発売日 2026 12.10 木 10:00

主催・お問合せ：株式会社 アスペン 03-5467-0081

協賛：Daiwa House　後援：ポーランド広報文化センター／一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

Aspen

2027年はショパン国際ピアノコンクール100周年にあたります。
この記念すべき年に第19回コンクール(2025年)、第3位および最優秀ソナタ賞に輝いたズートン・ワンと第5位および聴衆賞第1位に輝いたピョートル・アレクセーヴィチの2人が2曲のコンチェルトを弾く、大変魅力的な一夜となります。
最も特筆すべきは2曲のショパンのコンチェルトがショパンの時代にも演奏されていた弦楽オーケストラ版で演奏されるという点です。当時は現在のような大音響を奏でるピアノは存在せず、管楽器の美しいメロディや打楽器のパートを第2ヴァイオリンやヴィオラ、コントラバスが多く受け持ち、視覚的にも大変興味深い情景が現出し、精緻なアンサンブルはショパンの弦楽との相性のよさを再認識できるでしょう。
最近では2曲のコンチェルトはピアノ六重奏で奏でられる機会は増えてきましたが、本場ポーランドを代表する、アンナ・ドゥチマル＝ムルス(音楽監督・首席指揮者)率いるポーランド国立放送アマデウス室内オーケストラによる演奏を聴けることは大変貴重な機会と言えるでしょう。



ズートン・ワン(ピアノ)
Zitong Wang (Piano)

第19回ショパン国際ピアノ・コンクール2025
第3位 最優秀ソナタ賞＝クリスチャン・ツィメルマン賞

ニュー・イングランド音楽院でダン・タイ・ソンに師事。ニューヨークのロザリン・テューレック・バッハ(2010年)、プリンストン(2020年)、フェロル(スペイン、2022年)の国際ピアノ・コンクールで優勝。2023年にはポルツァーノのブゾーニ国際ピアノ・コンクール第6位。13歳で北京の紫禁城コンサートホールでソロ・リサイタル・デビューを果たす。これまでに、ベルリン・フィルハーモニー・ホール、ミュンヘン・プリンツレーゲンテン劇場、クリーヴランドのセヴェランス・ホール、ニューヨークのスタインウェイ・ホールなどで演奏し、アントニ・ヴィット、アンドレイ・ボレイコ、ヒュー・ウルフなどの指揮者、フィラデルフィア管弦楽団、クリーヴランド管弦楽団などと共演。室内楽のレパートリーにおいてはモンチェ・リウ、ロベルト・ディアス、チェンバー・ミュージック・ノースウェストと共演している。



ピョートル・アレクセーヴィチ(ピアノ)
Piotr Alexewicz (Piano)

第19回ショパン国際ピアノ・コンクール2025
第5位 聴衆賞第1位

ヴロツワフでパヴェウ・ザヴァツキ教授、チューリッヒにてコンスタンティン・シェルバコフに師事。以前はニコライ・デミジェンコのもとでも学んだ。ヒルトンヘッド国際ピアノ・コンクール(2025年)で第2位。ワルシャワでのポーランド国内ショパン・コンクールでは二度優勝し、第18回ショパン・コンクールではズビグニェフ・ジェヴィエツキ教授賞を受賞。2024年、テキサス・ピアノ協奏曲コンクール及びスイスのシェンク・コンクールで優勝し、すべての特別賞も受賞した。ベルリン・フィルハーモニー、パリのサル・コルトー、サラ・サンパウロ、ヴロツワフ国立音楽フォーラム、ワルシャワ・フィルハーモニー、大阪のザ・シンフォニーホールなどの著名なホールで演奏。ハワード・シェリー、カルロス・ミゲル・プリエト、アンドレイ・ボレイコ、マレク・ピヤロフスキなどの高名な指揮者と共演している。フリデリク・ショパン研究所より2枚のアルバムをリリース。



アンナ・ドゥチマル＝ムルス(音楽監督・首席指揮者) Anna Duczmal-Mróz (Music Director, Principal Conductor)

アマデウス室内オーケストラの初代音楽監督のアグニェシュカ・ドゥチマルの娘として生まれる。ヴァイオリンを始め、ハノーファー音楽演劇大学でクリストフ・ヴェグジンのもとで研鑽を積んでいる時に、大植英次から「指揮者になるべく生まれた」と指揮者としての才能を認められ2001年から2005年まで師事。NDRハノーファー北ドイツ放送フィルを卒業コンサートで指揮。2003年にアマデウス室内オーケストラでデビュー。2006年からはワルシャワ国立フィルでアントニ・ヴィットの副指揮者をつとめた。2009年よりアマデウス室内オーケストラ首席指揮者、2024年9月からは母の後を継いで同オーケストラの音楽監督となった。これまでにワルシャワ国立フィル、ポーランド国立放送響、シンフォニア・ヴァルソヴィア等のポーランドの主要オーケストラをはじめシカゴ交響楽団ほか世界各国オーケストラを指揮している。

ポーランド国立放送 アマデウス室内オーケストラ

アマデウス室内オーケストラはアグニェシュカ・ドゥチマルによって1968年、ポズナンに設立され、当初は青年音楽国際連合、後にポズナン音楽協会の支援によって運営された。1976年には西ベルリンで開催された「インターナショナル・ミーティング・オブ・ヤング・オーケストラ」においてヘルベルト・フォン・カラヤン・シルバーメダルを獲得する。1977年にポーランド放送所属のオーケストラとなり、アグニェシュカ・ドゥチマルの指揮の下、アマデウス室内オーケストラとなった。彼らは非常に多くの作品を初演してきているが、そこにはJ.コフレルによって室内オーケストラ版に編曲されたJ.S.バッハの"ゴルドベルク変奏曲"も含まれる。これまでにモーリス・アンドレ、マルタ・アルゲリッチ、 パトリック・ガロワ、ケビン・ケナー、ミッシャ・マイスキー、ジェレミー・メニューイン、イーゴリ・オイストラフ、ワディム・レーピン、グレゴリー・ソコロフ等のアーティストと共演している。また、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ベルリン・フィルハーモニー、ライプツィヒ・ゲバントハウス、ウィーン楽友協会、ミラノのスカラ座、そして東京オペラシティコンサートホールなど世界各国の有名なコンサートホールで演奏している。2025年大阪・関西万博に来日した。

Daiwa House®
大和ハウスグループ

共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループは、グループシンボル「エンドレスハート」に
お客様と私たちの永遠の絆と私たちグループの連帯感を託しました。
人・街・暮らしの価値共創グループとして、私たちは社会に新しい価値を築いてまいります。

大和ハウス工業株式会社 www.daiwahouse.co.jp